

「青パト」全国巡回中

勤務やり繰り 燃料自腹

子どもの安全 守るマイカー

青色の回転灯をつけたマイカーでパトロールして、地域の安全を守る「青パト」が全都道府県に広がっている。制度がスタートした昨年12月から今年9月末まで、認定を受けた車の台数は計2720台。自治会や保護者のグループ、NPOなどのメンバーが勤務時間をやり繰りし、ガソリン代を負担しながら取り組んでいる。子どもが巻き込まれる犯罪の増加などへの危機感から、足元の治安を守ろうと模索は続く。

9月末 2720台

道路運送車両法に基づき保安基準は、緊急車両以外が回転灯を装備することを禁じていたが、昨年11月に奈良市の小学1年の女兒が誘拐、殺害された事件後の12月に同基準が緩和され、防犯活動をする場合に自家用車などに青色回転灯をつけることが認められた。

制度のスタート当初は百数十台。朝日新聞が申請を受ける各都道府県警に取材したところ、9月末現在で計2720台にのぼり、すべての都道府県で実施されていた。513台で最も多い愛知県は、車の盗難件数が2年連続で全国ワースト1。県警の担当者は「安全に対する住民の危機意識が確実に高まっている」と語る。

奈良市西部の住宅地。市立鳥見小学校の周辺では、児童の下校時刻に合わせて「青パト」が走り始める。誘拐、殺害事件で亡くなった女兒が通っていた小学校と隣接する校区だ。

事件の直後、教職員や住民らが徒歩で通学路のパトロールを始めた。容疑者が逮捕された後も不安は消えず、今春に保護者と教職員らで青パト隊を結成した。

小学校5年の息子がいる獣医師の三木隆行さん(45)は仕事の合間をぬって週に3、4回参加す

る。子どもを見かけると速度を落とし、「気をつけて帰ってね」「寄り道しちやだめだよ」。子どもたちは「きょうなら」と手を振ってくれる。青パトを運転できるのは県警から認定を受けた人。学年によって下校時間が異なる日は5回にわたって2時間以上も走

都道府県	台数
北海道	279
青森県	3
岩手県	28
宮城県	5
秋田県	3
山形県	3
福島県	30
茨城県	57
栃木県	19
群馬県	55
埼玉県	41
千葉県	84
東京都	57
神奈川県	157
新潟県	17
富山県	13
石川県	35
福井県	21
山梨県	10
長野県	53
岐阜県	25
静岡県	235
愛知県	513
三重県	95
滋賀県	54
京都府	18
大阪府	38
兵庫県	23
奈良県	182
和歌山県	14
徳島県	28
香川県	62
愛媛県	24
高知県	46
福岡県	18
佐賀県	0
熊本県	2
大分県	15
宮崎県	7
鹿児島県	76
沖縄県	21
計	2720



「青パト」に見守られて下校する児童たち。奈良市鳥見町4丁目